

サンタクロース・エクスプレス

ヘルシンキまで
約12時間、
夜行寝台列車。

ロヴァニエミ〜ヘルシンキ間の約900kmを走る寝台列車で、清潔で快適なコンパートメントはすべて個室でオートロック。深夜まで食事ができる食堂車もあり、列車の旅が満喫できます。片道€72.20、寝台料金€11〜(季節により異なります)。



SANTACLAVIS



©Rovaniemi Tourism&Marketing Ltd.

北極圏到達証明書を
もらおう!

サンタクロース村内のインフォメーションでは、「北極圏到達証明書」が発行できます。日本語版もあり、北極圏を訪れた記念におすすめ。€4.2。



ハイセンスショップが
ひしめくヘルシンキ。

先進的なデザインの発信地として世界が注目するヘルシンキ。2012年は「世界デザイン首都」にも選ばれ、さまざまなイベントが開催されています。特に「デザイン・ディストリクト」と呼ばれるエリアには、アート性に優れたショップが約200店舗。エッジの効いた最先端デザインがいっぱいです。



Marimekko
(マリメッコ)

フィンランドを象徴するブランド。色彩豊かで個性的なプリントが特徴で、アパレルから雑貨までアイテム豊富。ケシの花を大胆にあしらった「ウニコ」は代表作で日本でも大人気です。ヘルシンキ市内に6店舗あり。



Iittala(イッタラ)

独創的な曲線美で有名な花瓶は、創業から80年のいままイッタラ村の職人技で作られるそう。ガラス製品のほか、機能性とデザインに優れたテーブルウェアが揃います。ヘルシンキ市内に3店舗あり。



北極圏の入り口、
ロヴァニエミ。

サンタクロースの故郷として人気のロヴァニエミは、第二次世界大戦後に再建された美しい町。北極圏の暮らしを紹介する博物館「アルクティクム」や、スカンジナビア最大級ともいわれるフレスコ画がある「ロヴァニエミ教会」など観光スポットも充実。

いつでもサンタに会える、
サンタクロース村。

サンタクロースの居住地とされるのは、ロシア国境近くの山中。そのためサンタクロース宛の手紙が州都でもあるロヴァニエミに届くようになり、サンタクロース村が作られました。サンタクロースと話をしたり、記念撮影もでき、ここから手紙を出すサンタクロース村限定の消印が押されます。クリスマス・グッズが豊富なショップもあります。

©Joulumantie 1
10:00〜17:00(季節により異なります) 無休
http://santaclausvillage.jp/top.html

AURORA



オーロラってなに?
地球は北極をS極、南極をN極とする巨大な磁石。太陽から地球に飛んできたプラズマ(電気の粒子)が磁極に吸い込まれて地表に接近し、大気中の原子と衝突した時に発生する光がオーロラです。北緯65度〜70度付近は「オーロラベルト」と呼ばれ、最もオーロラが発生しやすい地域です。

オーロラ観測の拠点、
サーリセルカ。

オーロラは日照時間の短い冬の夜が観測に最適で、9月〜4月頃が観測のハイシーズン。1回の光の乱舞は10分ほどなのでこまめに空を観測しましょう。また、2012年〜2015年は太陽の黒点の活動周期でプラズマの数も多く、オーロラ発生率が高いという説も。このチャンスは見逃しません。しかもサーリセルカは、オーロラベルト上にあがり、観測率は3日に約1.7回とか。サーリセルカは徒歩30分で一周できるほど小さな町ですが、ウィンターアクティビティも充実しています。

ウインターアクティビティ
犬ぞりやトナカイぞりの
スペシャルライド!

雪景色を楽しみながら、そりで北極圏を走ってみませんか。サンタ気分でのんびり走るトナカイぞりはお子様連れでも安心。また、初めてでもすぐに操縦できる犬ぞりは、スピード感抜群。坂道では犬たちが助けを求めることもあるとか。もちろんスキーやスノーモービルなども楽しめます。

PRESENT 10
フィンランド航空のモデル
プレーンを5名様に
詳しくはP20をご覧ください。



オーロラの観測方法

オーロラ観測時の夜、外気温はマイナス30度前後になります。防寒のポイントは重ね着。スキーフエアのように風を通さないものを選び、体にびつたりしたものより、少しゆとりのあるものを重ね着して空気の層を作りましょう。帽子やフェイスマスクも用意し、手袋はミトン型で大き目。また、さまざまなタイプの携帯用カイロも便利。ツアーによっては防寒着のレンタルもできます。上手に防寒し、オーロラ観測に向かいましょう。



ホテル&イグラーヴィレッジ
カクシラウッタネン

ベッドでオーロラ
観測ができる
リゾートホテル。

ログ・コテージタイプの部屋のほか、冬になると広い敷地に雪と氷で造られた、かまくらのような「スノー・イグラー」が造られ、宿泊ができます。さらに、オーロラ観測のために造られた「ガラス・イグラー」も。快適な室温にしてもガラスが曇らない加工がされ、ベッドで横になってオーロラ観測ができます。

©99830 Saariselkä
http://www.kakslautanen.fi/ja/

フィンランドは、
北ヨーロッパの東側に位置する森と湖の国。
北部から北極圏にまたがり、オーロラ観測や
サンタクロースに出会える町としても人気。
オーロラの光に包まれる、
幻想的な旅へ出かけてみませんか。

フィンランドの基本情報

- 時差/日本時間から7時間。
- 10月最終日までは6時間。
- 通貨/ユーロ(€)
- €1=約101円(2012年9月現在)
- 気候/東北に寒い。気候により異なりますが、11月〜3月は比較的な冬。平均気温はマイナス20度前後に。北極圏では白夜や極夜があり、南緯は比較的涼しく、四季を感じることもできます。
- 言語/主にフィンランド語とスウェーデン語。広く英語も使用されています。【フィンランド語】
- こんにちはは「ハイヴェイ、アヒトウ、キートス」



サーリセルカ&ロヴァニエミ&ヘルシンキ 8日間

■出発日/12月4日(火)〜3月29日(金) ※出発日についてはP16フレットをご覧ください。
■利用航空会社/フィンランド航空 ■旅行代金/1,899,800円〜339,800円(おとな一人様2名一室利用)
■利用ホテル/(サーリセルカ)サンタス・ホテル/トナカイ、(ロヴァニエミ)スキャンディック/ロヴァニエミ、(ヘルシンキ)ソリス・フレグアンディまたは各都市同級クラス以上

1日目 中部国際空港(11:55発)〜ヘルシンキ乗り継ぎ〜イヴァロ空港(夜)〜サーリセルカ〜ホテル(泊)
2〜3日目 終日自由行動〜ホテル(泊) オールラッチェス前(泊) X
4日目 出発まで自由行動〜ロヴァニエミ〜ホテル(泊) オールラッチェス前(泊) X
5日目 出発まで自由行動〜寝台列車サンタクロース・エクスプレス(18:12〜21:08発、車中泊) X
6日目 ヘルシンキ(6:54〜8:36発)〜終日自由行動〜ホテル(泊) X X X
7日目 出発まで自由行動〜ヘルシンキ(17:15発)〜 X
8日目 中部国際空港(9:55発) X X X

※旅行代金に46,000円(10日現在)、中部国際空港利用料、及び海外空港乗降が別途必要となります。最少旅行人数2名、送迎費は同行いません。
※1日旅行代金に旅行代金とは別として、事前にこの欄の上、お申し込みください。

■ご予約・お問合せ/名鉄観光サービス 名古屋メディア海外旅行 ☎052-583-1959 名鉄百貨店旅行サロン ☎052-565-1891
名鉄観光サービス ☎052-585-1748 金山支店 ☎052-683-7820

■詳しくはホームページ(http://www.mwt.co.jp/)、または専用パンフレットをご覧ください。
※旅行代金、名鉄観光サービスは旅行代金とは別として、事前にこの欄の上、お申し込みください。

名鉄観光

※訪問で紹介した価格が変更されている場合がございます。あらかじめご了承ください。 写真提供:Visit Finland

